

油断大敵！ 鱗翅目成虫は天窓からも侵入する

[研究のねらい]

野菜や花きの栽培施設における鱗翅目害虫の侵入防止技術を確立するため、成虫の侵入経路を明らかにします。

[研究の成果]

- ①ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、シロオビノメイガの成虫は、ビニルハウスの天窓部と側窓部にほぼ同数が飛来します（図1）。
- ②ビニルハウスでエンドウを栽培する場合、側窓・天窓ともに防虫ネットを被覆したハウスではイラクサギンウワバ幼虫の発生が認められません。しかし、側窓にネットを被覆していないハウスや、天窓にネットを被覆していないハウスでは幼虫が多く発生します（図2）。
- ③ビニルハウスでキュウリを栽培する場合のワタハリクロノメイガなどの発生も同様です。

[成果の活用面・留意点]

- ①ヨトウ類、ウワバ類、メイガ類など鱗翅目の成虫は、側窓部だけでなく、天窓部からも飛来侵入することがわかりました。防虫ネットを利用して鱗翅目成虫の侵入を防止するためには、側窓部と天窓部のすべての開口部を被覆する必要があります。

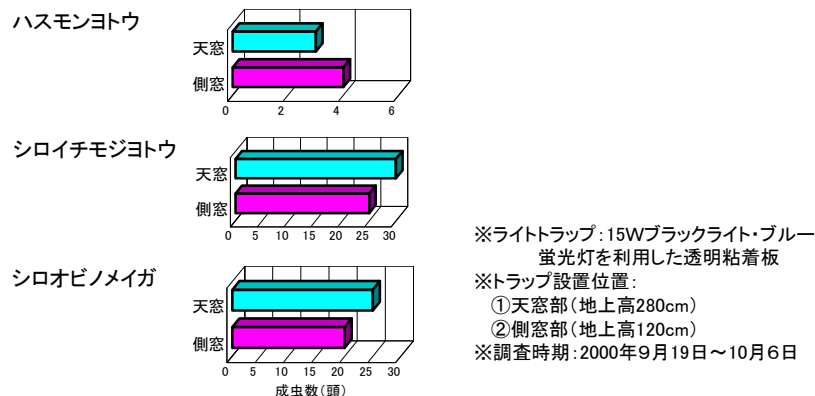


図1 エンドウ栽培ハウスの開口部に設置したライトトラップによる鱗翅目害虫の成虫誘殺数

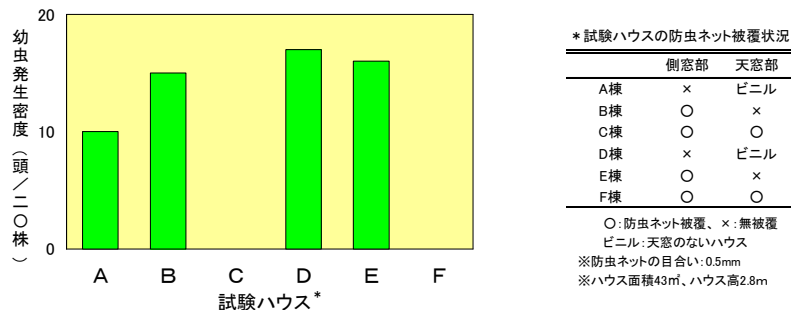


図2 エンドウ栽培ハウスの防虫ネット被覆の有無によるイラクサギンウワバの発生状況 (エンドウ播種: 2001年9月14日、調査日: 10月26日)

実施年度: 平成10~13年

担当者: 井口雅裕、福嶋総子、矢野貞彦